

マルチファンクションアンチエイジング素材 バイオセラQD

医薬部外品 ○ 中国 ○

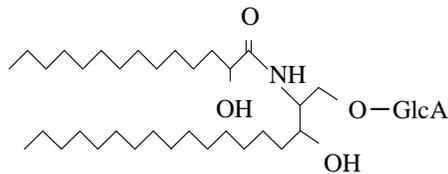
表示名称	スフィンゴ糖脂質、グリセリン、トコフェロール
I N C I	GLYCOSPHINGOLIPID, GLYCERIN, TOCOPHEROL

バイオセラ QD は醗酵法により得られたスフィンゴ糖脂質を約 4 ~ 7% 含んだグリセリン溶液です。スフィンゴ糖脂質は両親媒性を有するため、D 相調製法を利用して活性剤フリーのエマルジョンを調製できます。高い保湿効果と肌荒れ改善効果が期待できます。

構造

バイオセラQDに含まれるスフィンゴ糖脂質はCeramide5に類似の骨格

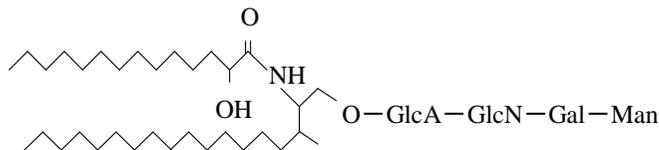
1糖結合型スフィンゴ糖脂質(構造代表例)



GlcA: グルクロン酸 GlcN: グルコサミン
Gal: ガラクトース Man: マンノース

R: or

4糖結合型スフィンゴ糖脂質(構造代表例)



バイオセラQD利用のO/D調整

化粧品に汎用される油分について、殆どの油性成分でO/Dゲル組成物の調整可能

構成成分	スクワラン	オリーブ油	I.P.M.	ジメチコン
バイオセラQD	20.0	←	←	←
グリセリン	15.0	←	←	←
植物性スクワラン	60.0	—	—	—
オリーブ油	—	60.0	—	—
I.P.M.	—	—	60.0	—
ジメチコン(350cc)	—	—	—	60.0
精製水	4.8	←	←	←
ベンチレングリコール	0.2	←	←	←
	100.0	100.0	100.0	100.0

